

資料編 (現況整理・公共交通特性)

# 現況整理 目次

1	現況整理.....	1
1-1	地域特性.....	1
1-1-1	位置・地勢.....	1
1-2	人口動態.....	2
1-2-1	人口及び高齢化率の経年変化.....	2
1-2-2	地区別人口.....	3
1-2-3	メッシュ人口.....	5
1-2-4	地区別人口伸び率(H17年→R2年).....	8
1-2-5	地区別高齢化率.....	10
1-3	土地利用・法規制状況.....	12
1-3-1	土地利用状況.....	12
1-3-2	用途地域.....	14
1-3-3	都市機能誘導区域・居住誘導区域.....	16
1-4	都市施設の立地状況と目的別移動状況.....	18
1-4-1	商業(買い物).....	18
1-4-2	医療(通院).....	20
1-4-3	事業所・教育(通勤・通学).....	22
1-4-4	その他施設の立地状況.....	29
1-5	観光動態.....	32
1-5-1	主要観光施設分布.....	32
1-5-2	主要施設の観光入込客数.....	34
1-5-3	伊勢市観光客数の推移.....	36
	参考:新型コロナウイルス感染症感染者数の推移.....	37
1-6	運転免許証保有者数・返納者数.....	38

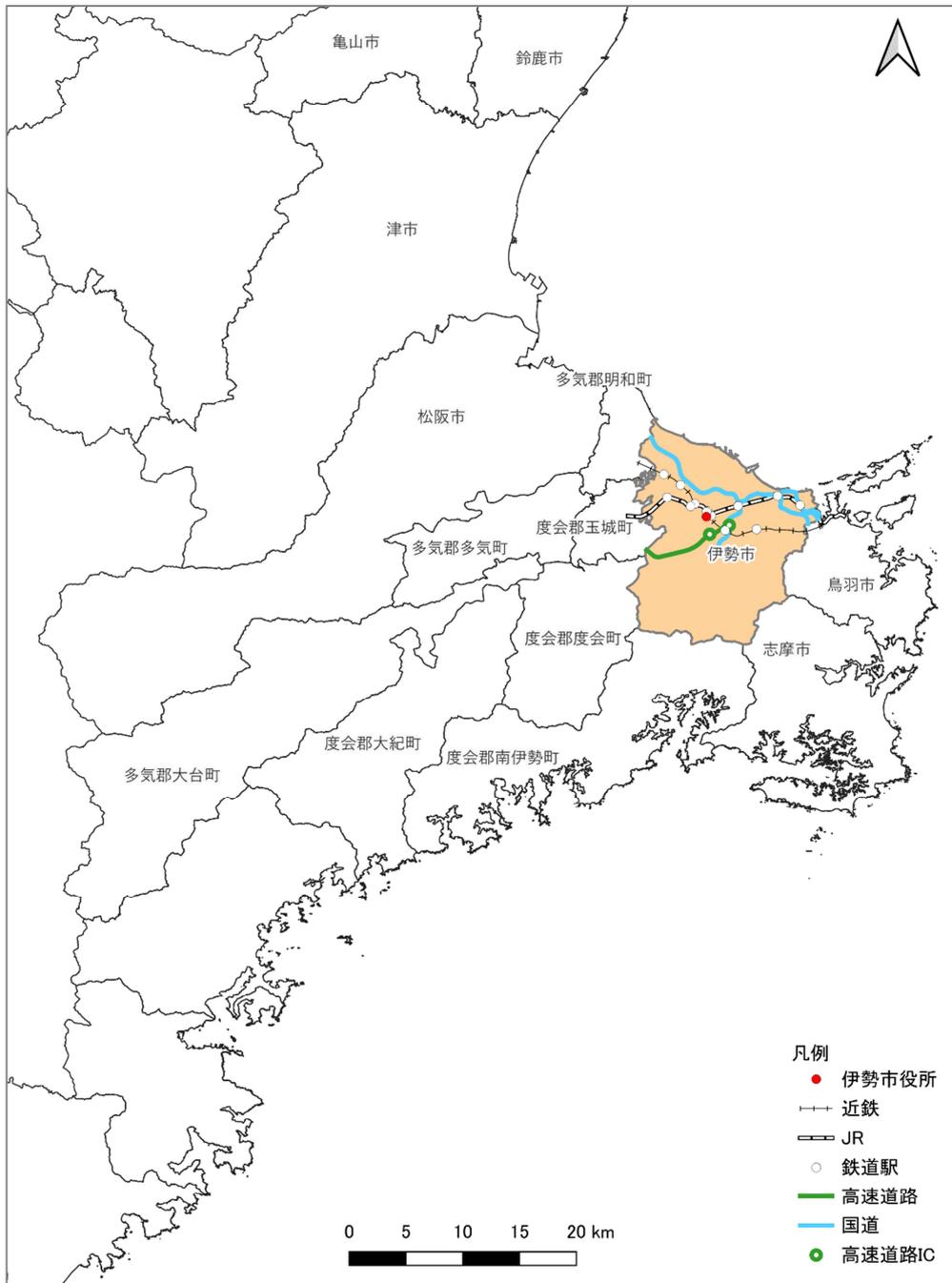
# 1 現況整理

## 1-1 地域特性

### 1-1-1 位置・地勢

本市は三重県の東部に位置しており、鳥羽市、志摩市、明和町、玉城町、度会町、南伊勢町と隣接しています。鉄道はJRと近鉄が東西に伸びており、また高速道路や国道が整備され、近隣の鳥羽市、明和町、玉城町からのアクセス性に優れています。また、本市には人気の観光地が多数点在し、多くの観光客が訪れています。

伊勢市の位置

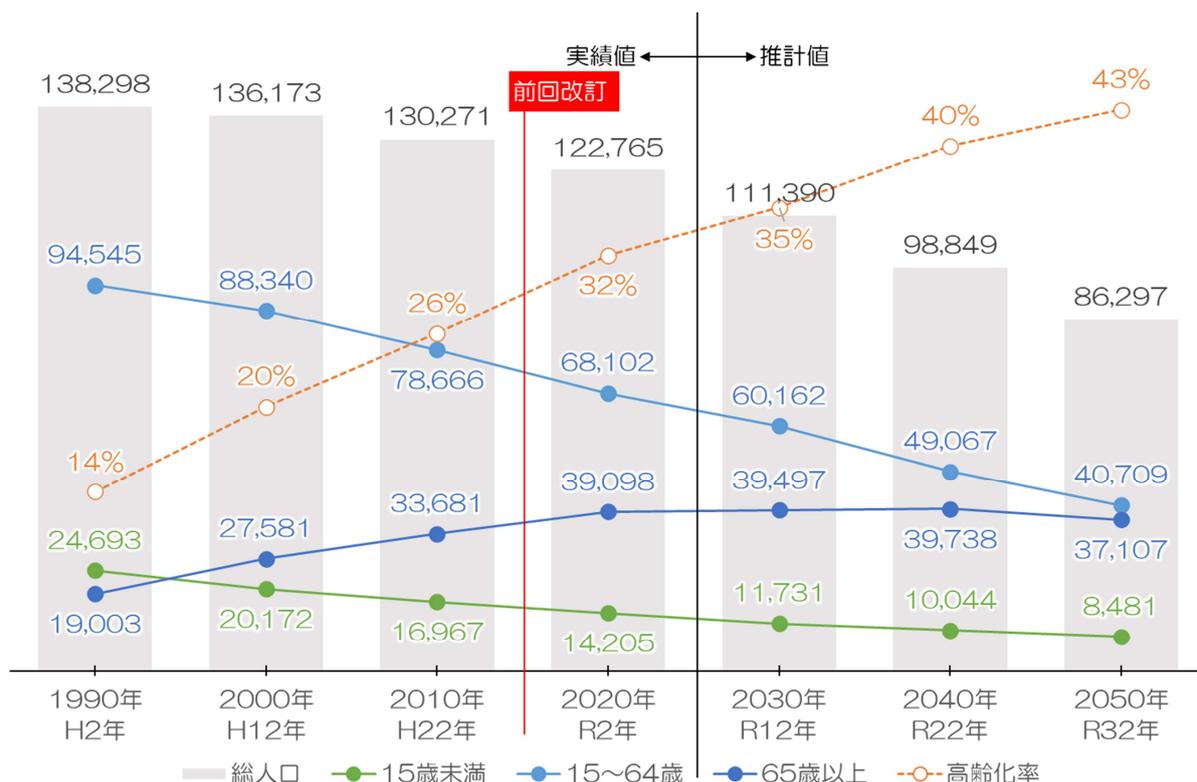


## 1-2 人口動態

### 1-2-1 人口及び高齢化率の経年変化

本市の総人口は年々減少傾向、少子高齢化傾向にあり、伊勢市人口ビジョンによると今後もこの傾向が続き、H2年からR32年の60年間で総人口は約40%減少すると予測されています。R12年以降は65歳以上の人口が減少しますが、総人口の減少率の方が高いため、高齢化率は増加し続け、R32年には43%に達すると予測されています。

人口・高齢化率の推移



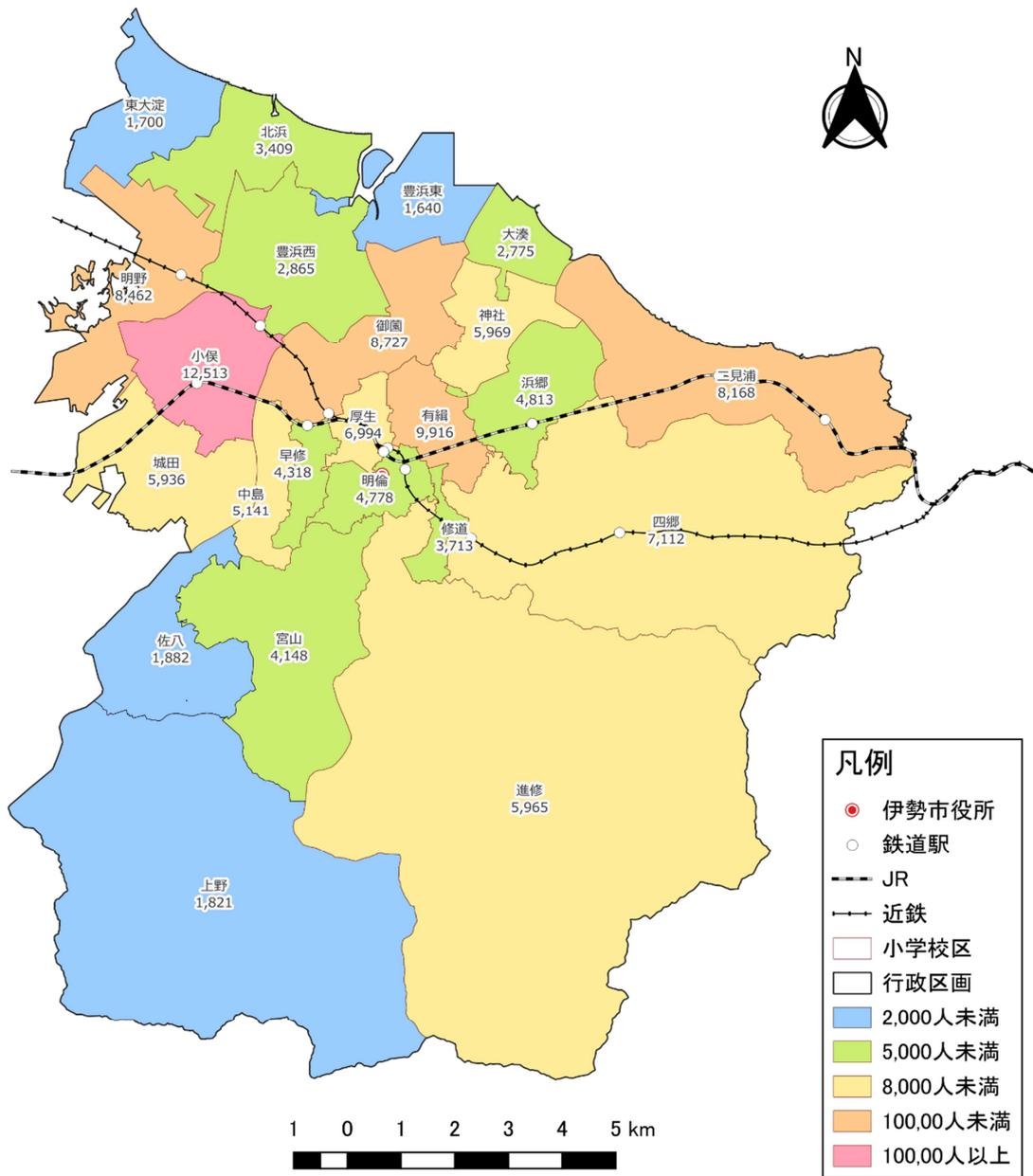
資料:国勢調査(H2～R2)、伊勢市人口ビジョン(R12～R32)

※「前回改訂」とは「(改訂)伊勢市地域公共交通網形成計画」に示されている時点のことです(以下同じ)

## 1-2-2 地区別人口

地区(小学校区)別の人口をみると、小俣地区のみ 10,000 人を超えています。

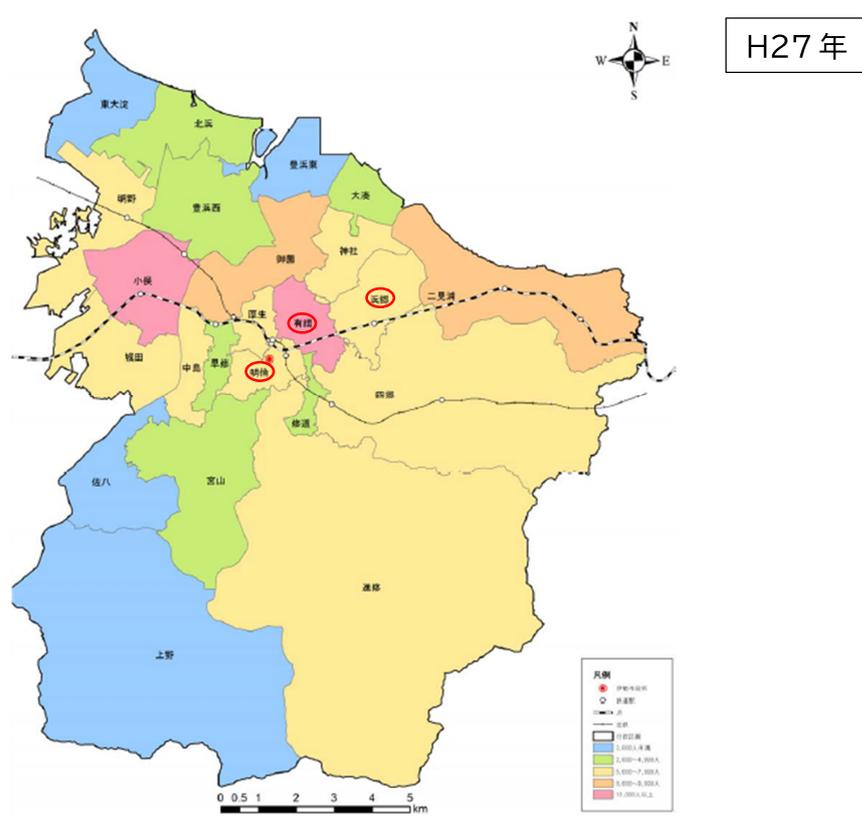
地区別人口



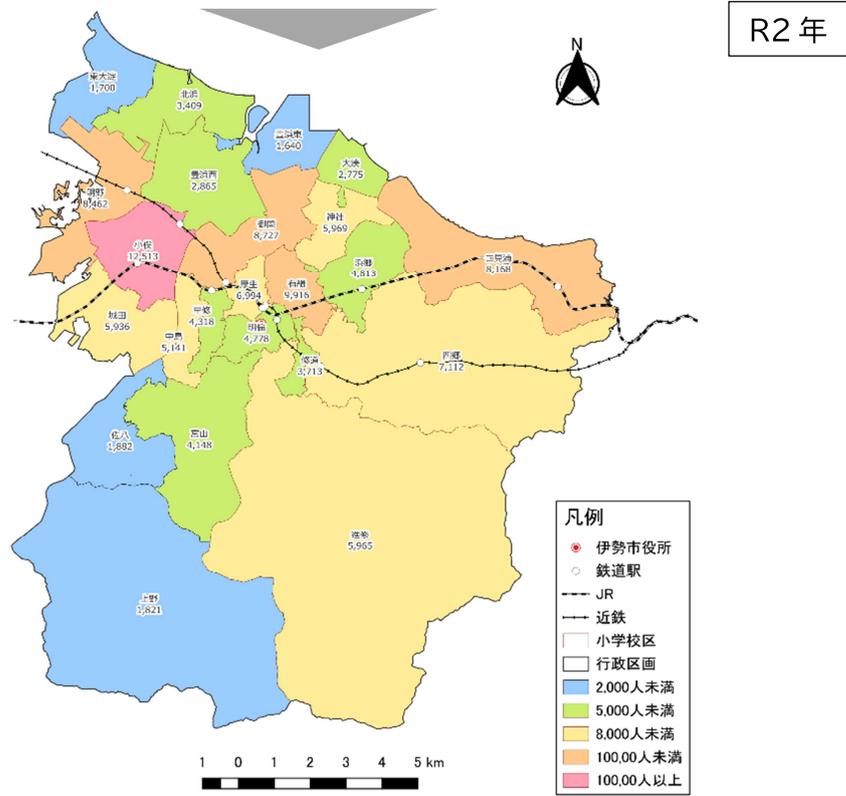
資料: R2 国勢調査

H27年と比較すると、浜郷地区に加えて、有絹地区、明倫地区など市の中心部の地区で人口が減少していることがわかります。

### 地区別人口の変化



資料：国勢調査（H27年）



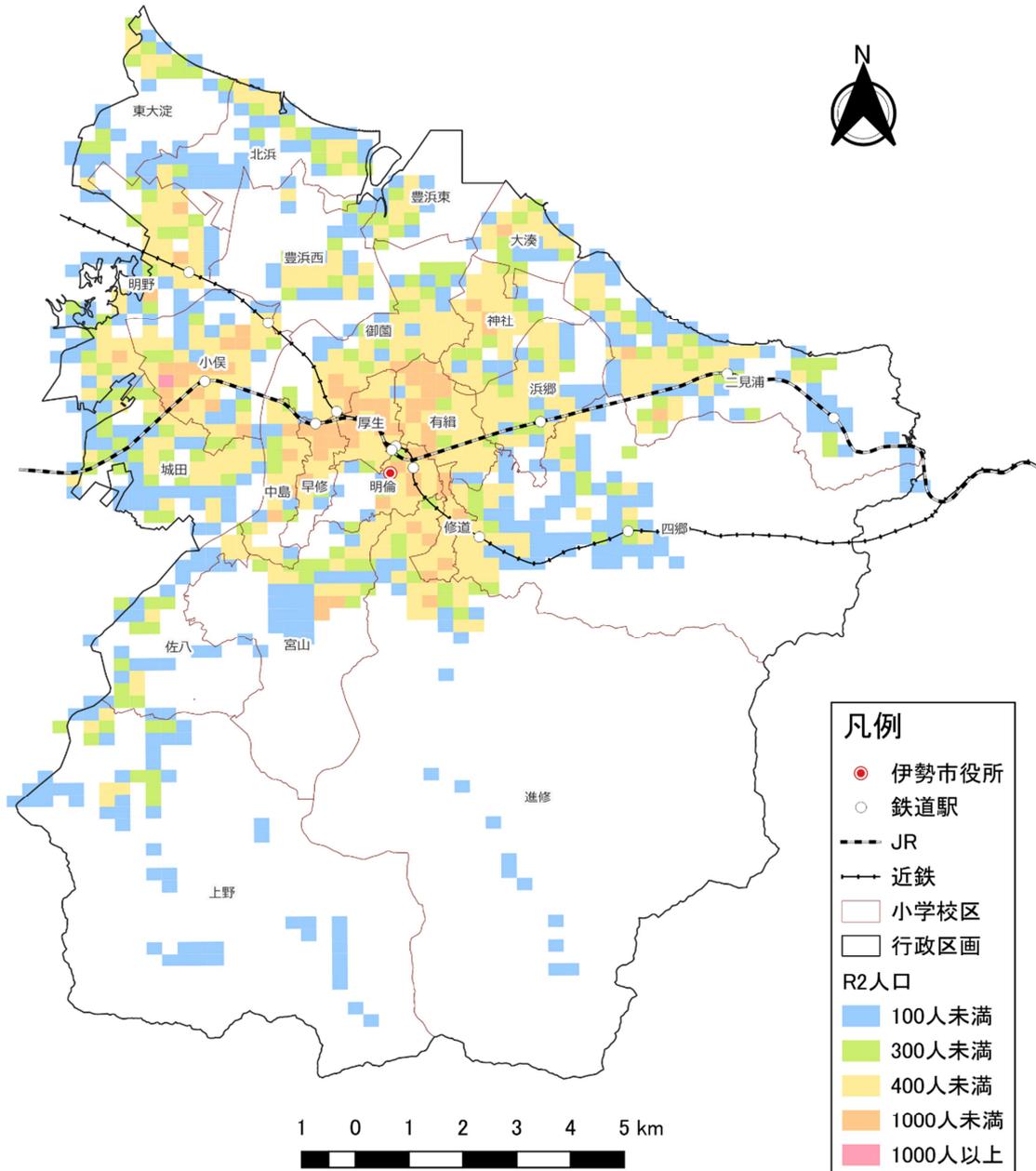
資料：国勢調査（H27・R2）

### 1-2-3 メッシュ人口

#### (1) R2年メッシュ人口(250mメッシュ)

メッシュ人口をみると、宮町駅～宇治山田駅間の沿線を中心に人口が集中しています。

R2年 250mメッシュ人口

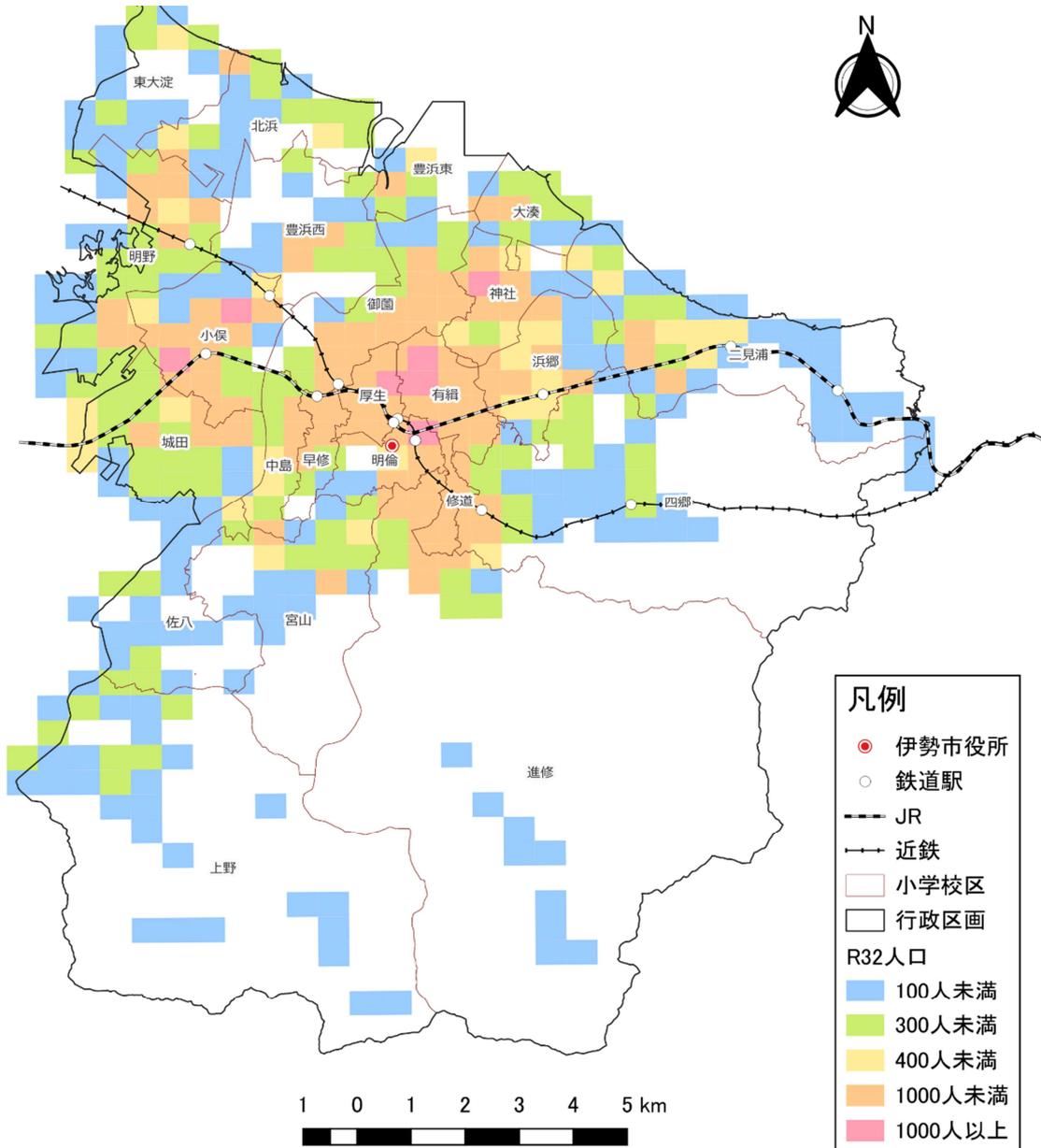


資料:国勢調査(R2)

(2) R32年メッシュ人口(500mメッシュ)

将来のメッシュ人口をみると、分布傾向はR2年と大きく変わっていません。

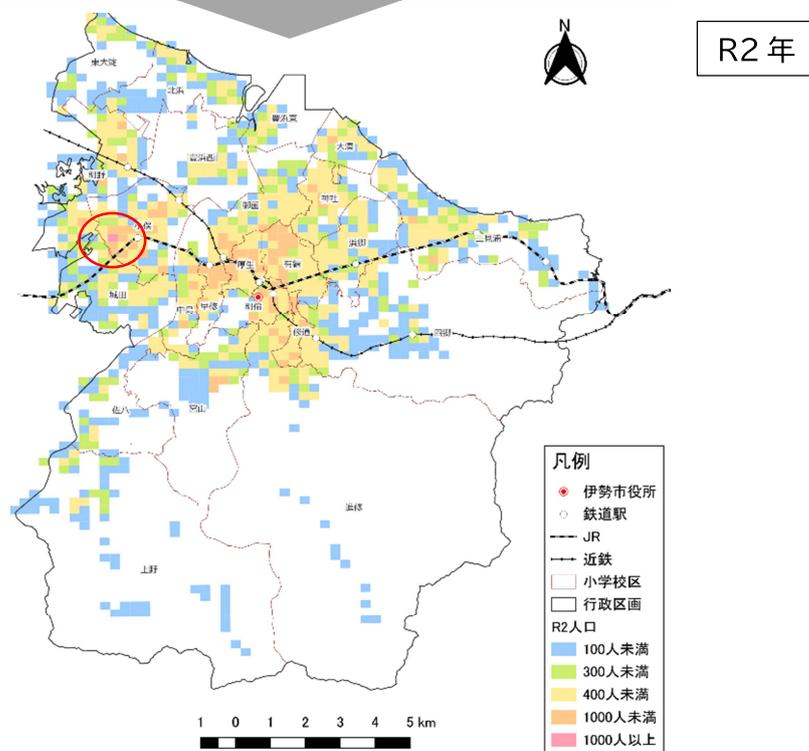
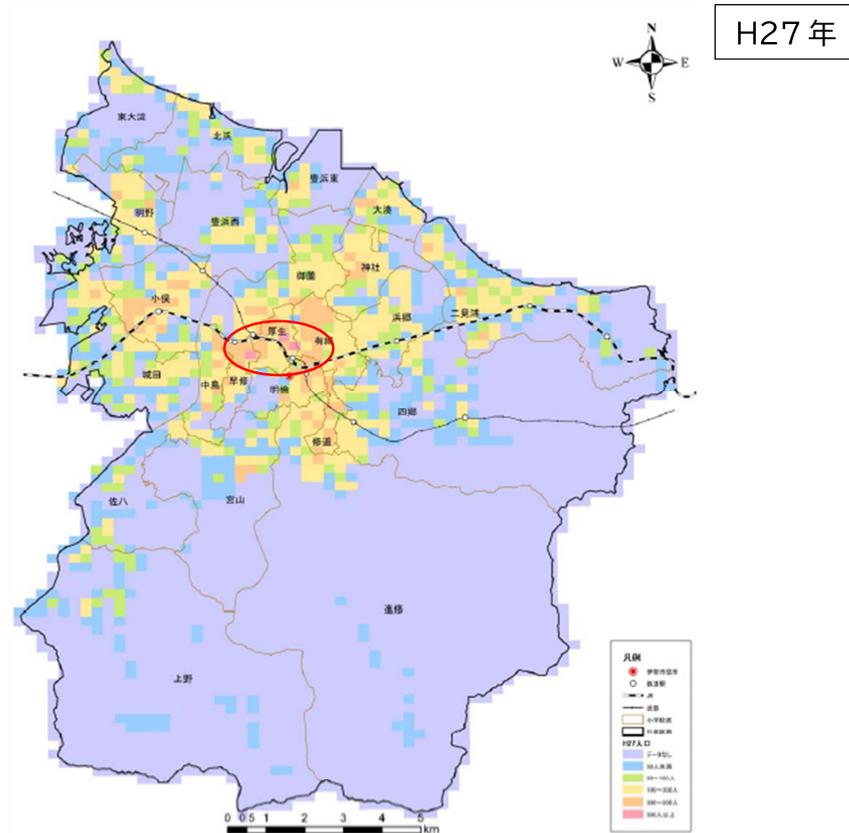
R32年 500mメッシュ人口



資料:国土数値情報

H27年と比較すると、厚生地区、有絹地区、早修地区の1,000人以上のメッシュが消滅し、小俣地区に新たに1,000人以上のメッシュが出現していることがわかります。

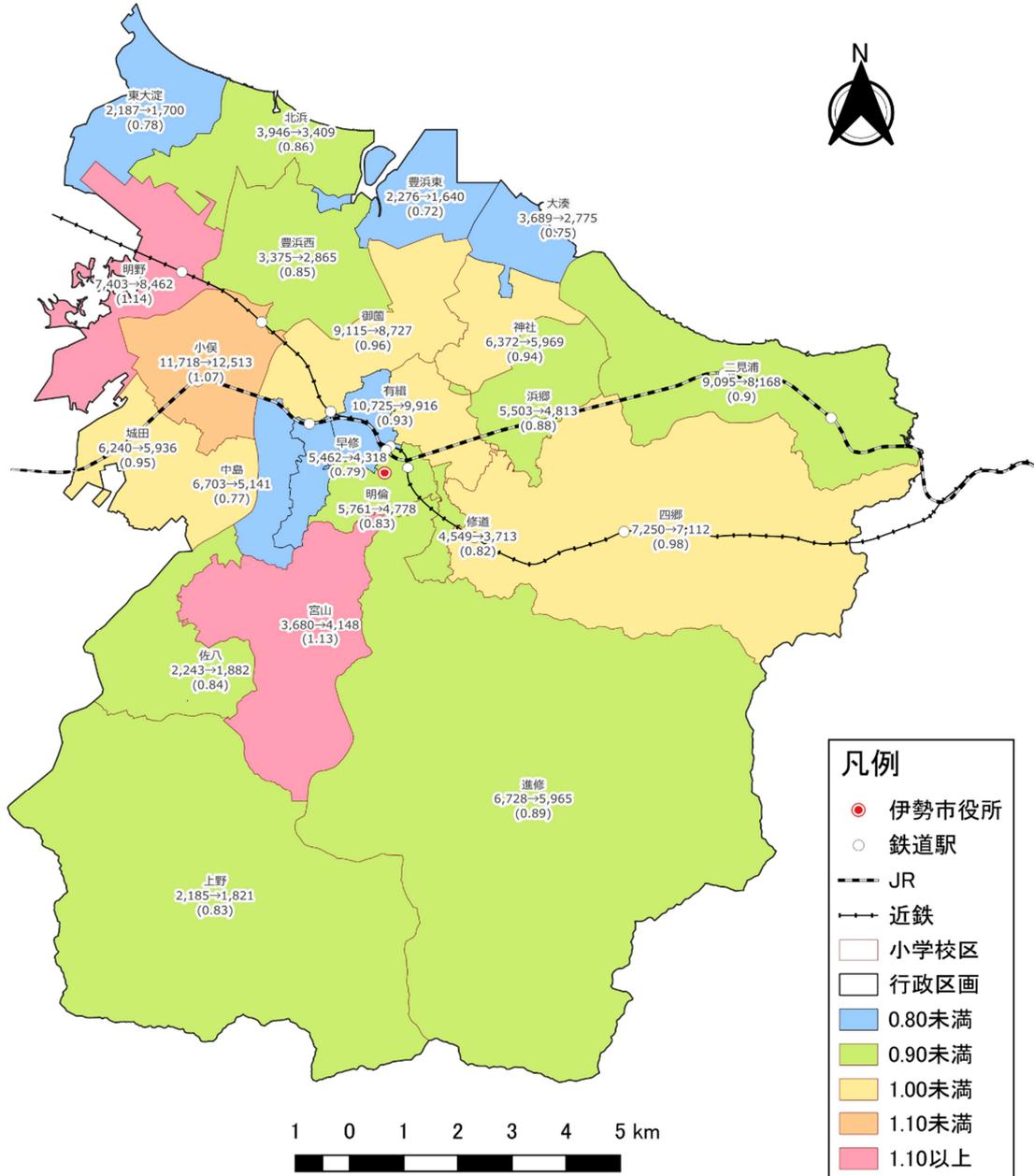
### 250mメッシュ人口の変化



### 1-2-4 地区別人口伸び率(H17年→R2年)

H17年からR2年の15年間の地区別人口の伸び率をみると、明野地区、宮山地区、小俣地区で1.0以上の増加が確認できる一方で、東大淀地区、豊浜東地区、大湊地区で0.8以上の大きな減少が確認できます。また本市中心部に近い厚生地区、早修地区、中島地区でも同様に大きく減少しています。

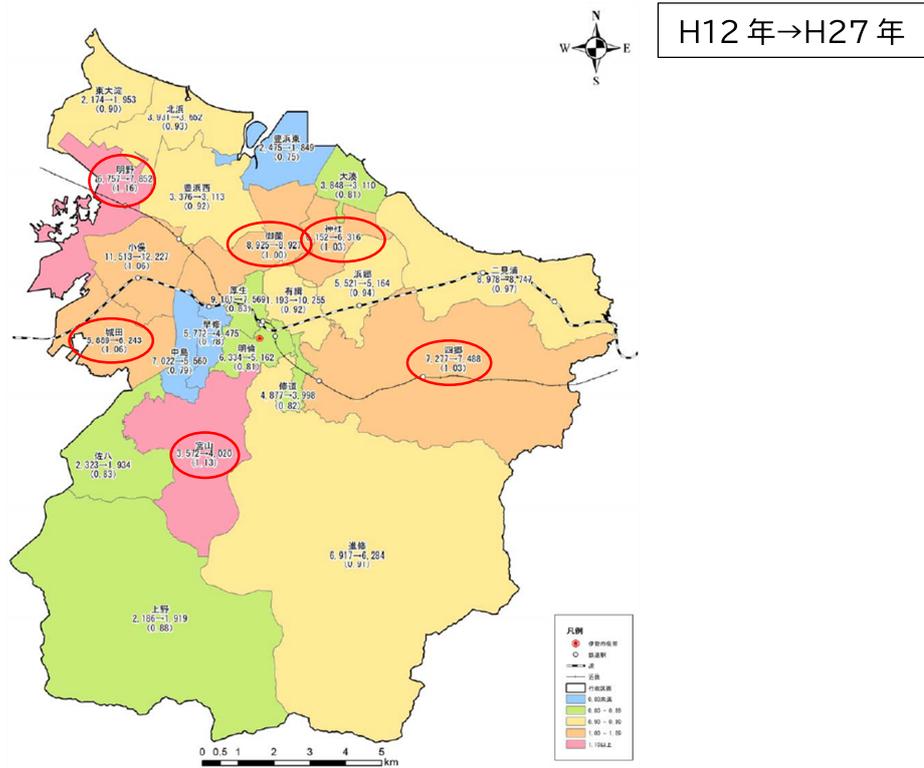
地区別人口伸び率



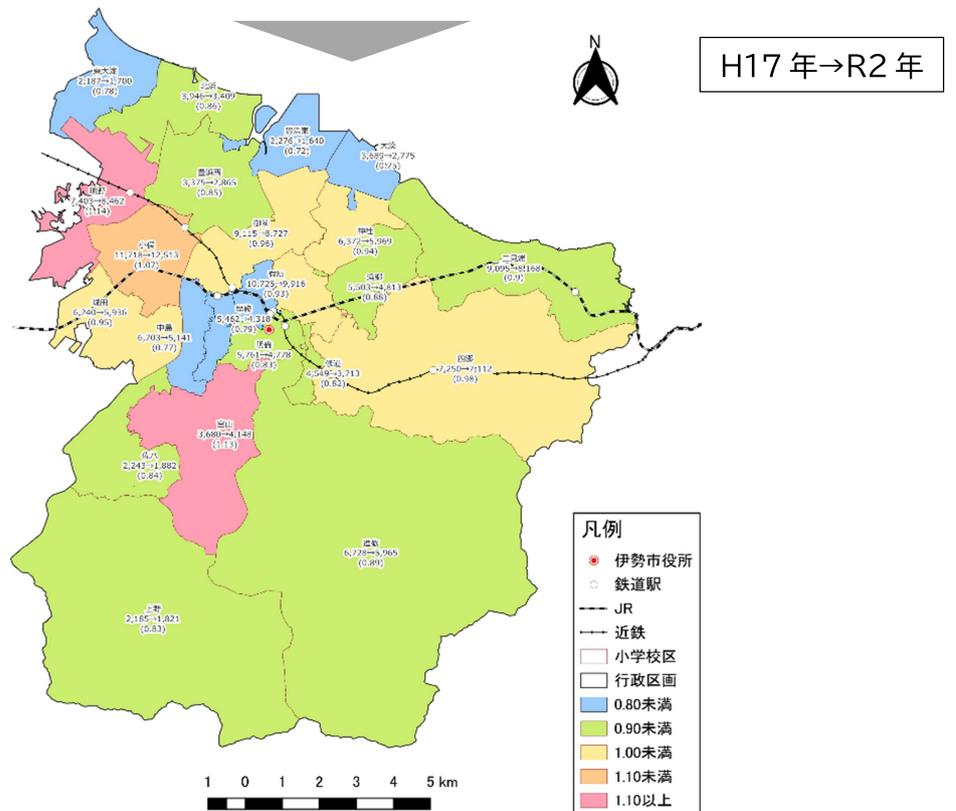
資料:国勢調査(H17・R2)

H27年と比較すると、明野地区、宮山地区は変わらず増加傾向ですが、鉄道沿線の四郷地区、城田地区、御園地区、神社地区等で新たに減少傾向に転じた地区があることがわかります。

### 地区別人口伸び率の変化



資料：国勢調査（H12年、H27年）

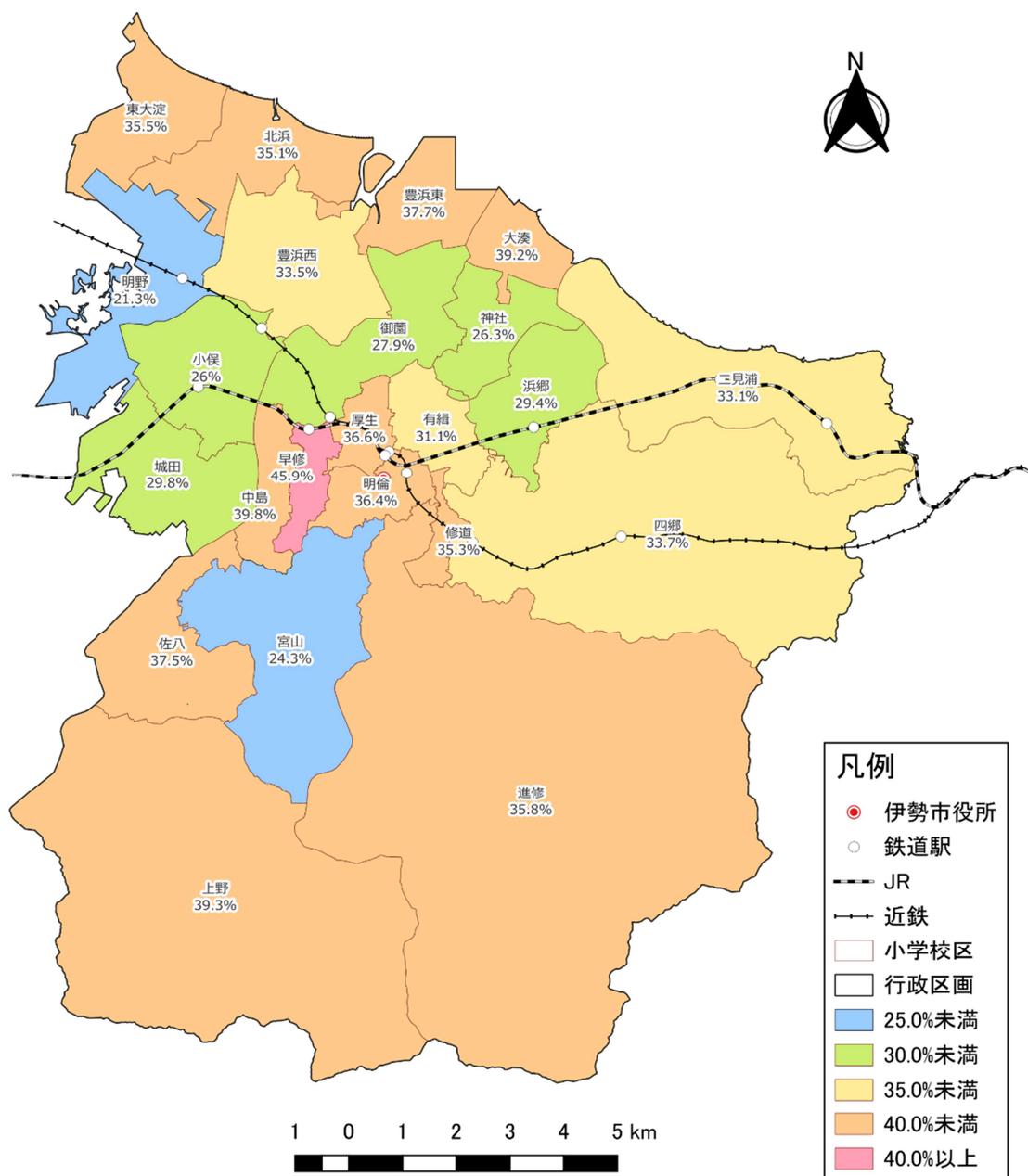


資料：国勢調査（H12・H17・H27・R2）

### 1-2-5 地区別高齢化率

R2 国勢調査時点の全国の高齢化率は28.6%でしたが、本市では明野地区、宮山地区、神社地区、御園地区、小俣地区を除くすべての地区で全国の高齢化率を上回っています。特に早修地区では45.9%と高い数値となっています。

地区別高齢化率

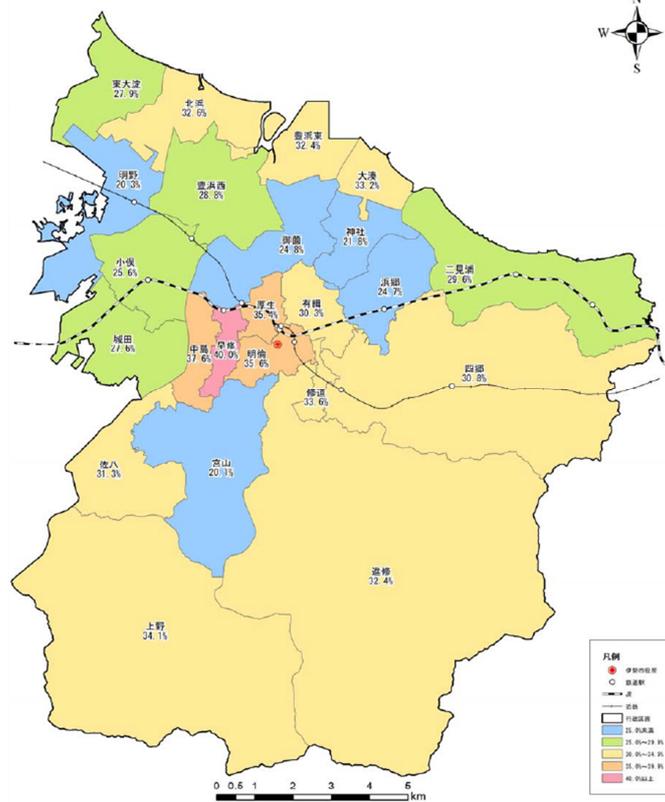


資料:国勢調査(R2)

H27年と比較すると、全ての地区で高齢化率が増加しています。特に沿岸部と市南部の地区で高齢化率35.0%以上の地区が増加しています。

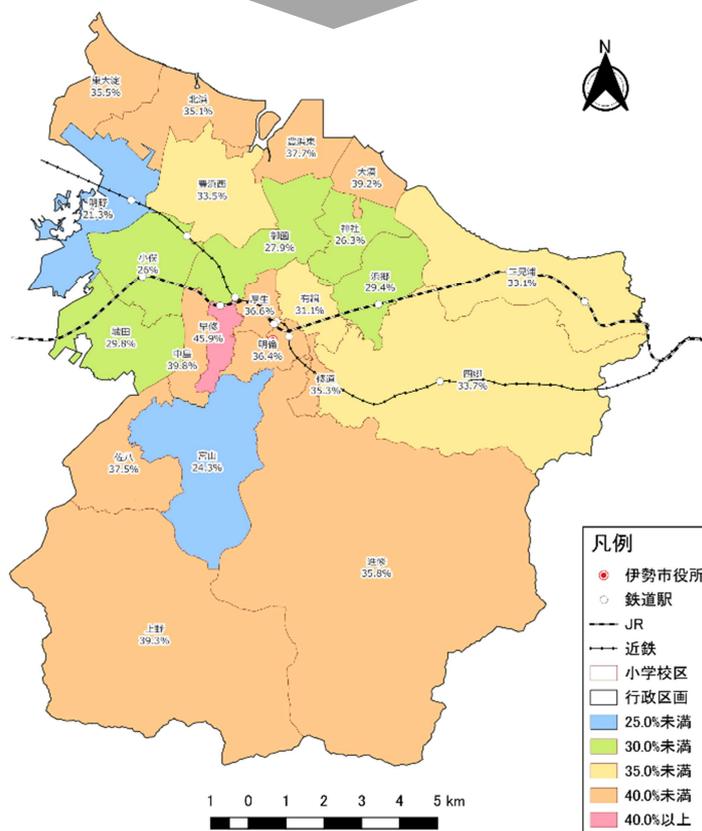
地区別高齢化率の変化

H27年



資料：国勢調査（H27年）

R2年



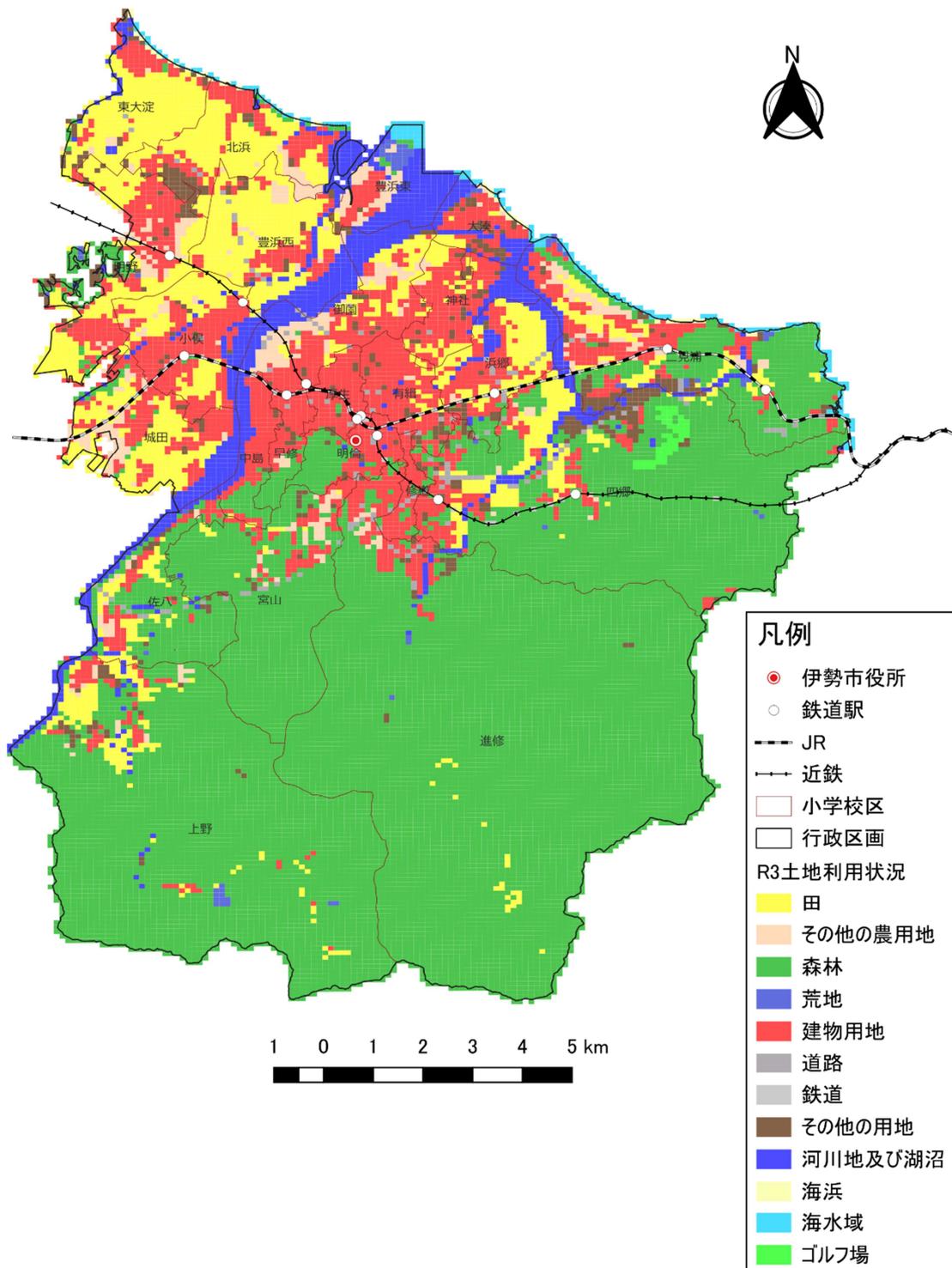
資料：国勢調査（H27・R2）

# 1-3 土地利用・法規制状況

## 1-3-1 土地利用状況

本市全体の土地利用状況をみると、森林が 57.9%、建物用地が 15.4%、田が 12.8%を占めています。北西部に多くの田が位置しています。

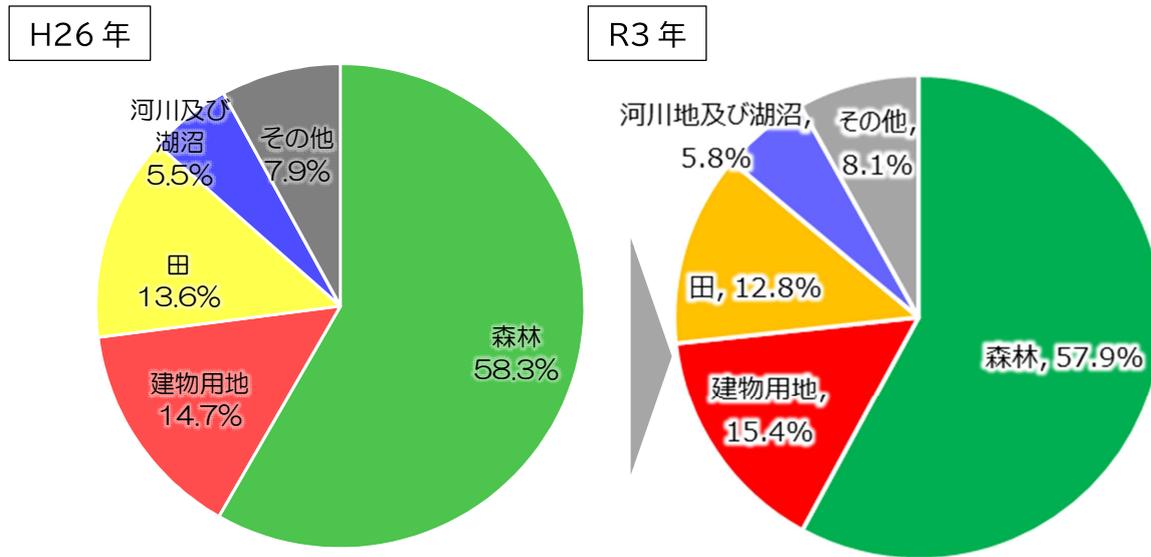
土地利用状況



資料:国土数値情報(R3)

H26年と比較すると、全体の構成割合に大きな変化はありませんが、建物用地がやや増加し、森林、田がやや減少していることがわかります。

### 土地利用状況の変化

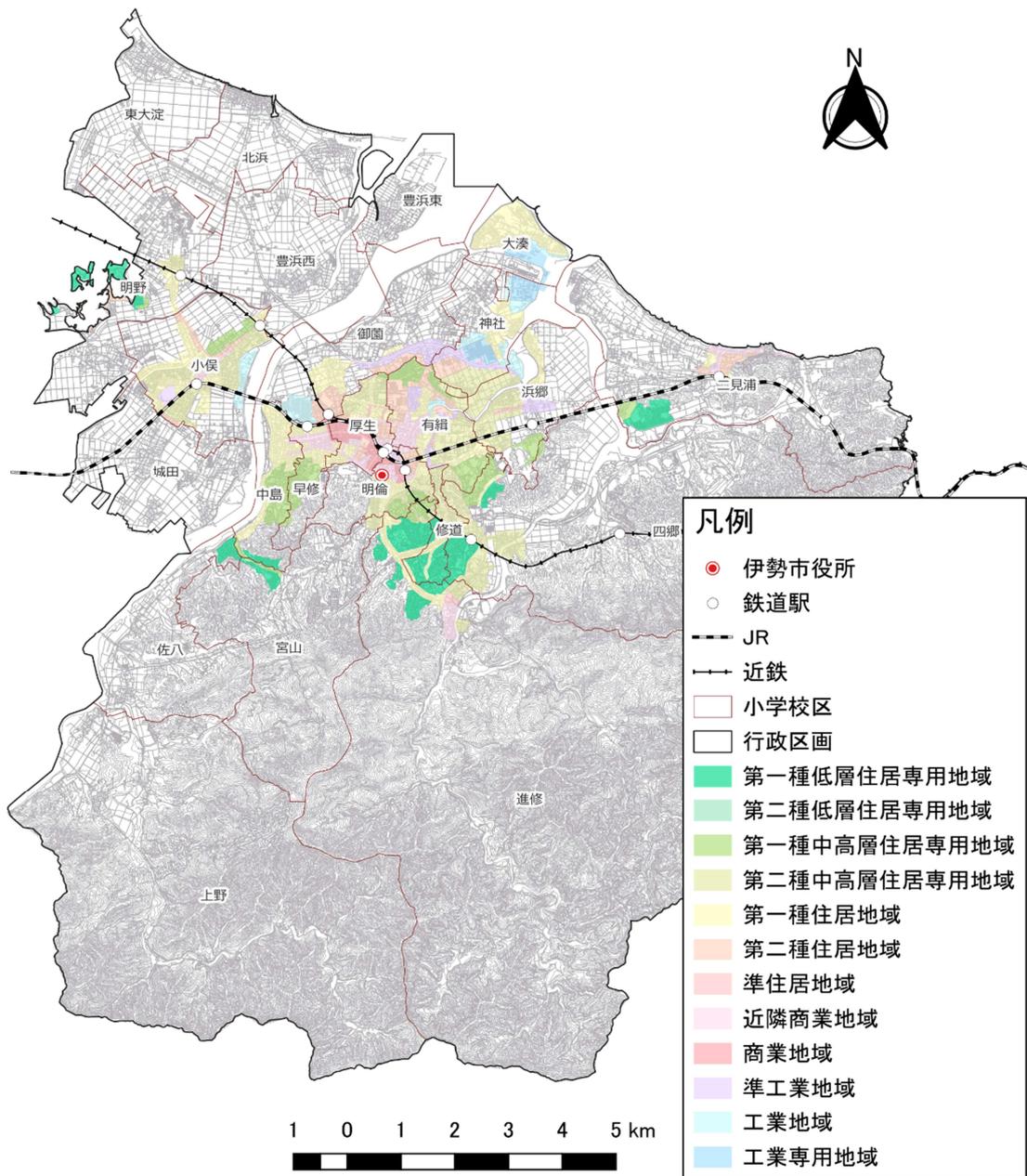


資料:国土数値情報(H26・R3)

### 1-3-2 用途地域

本市における用途地域の指定状況は下図のとおりです。

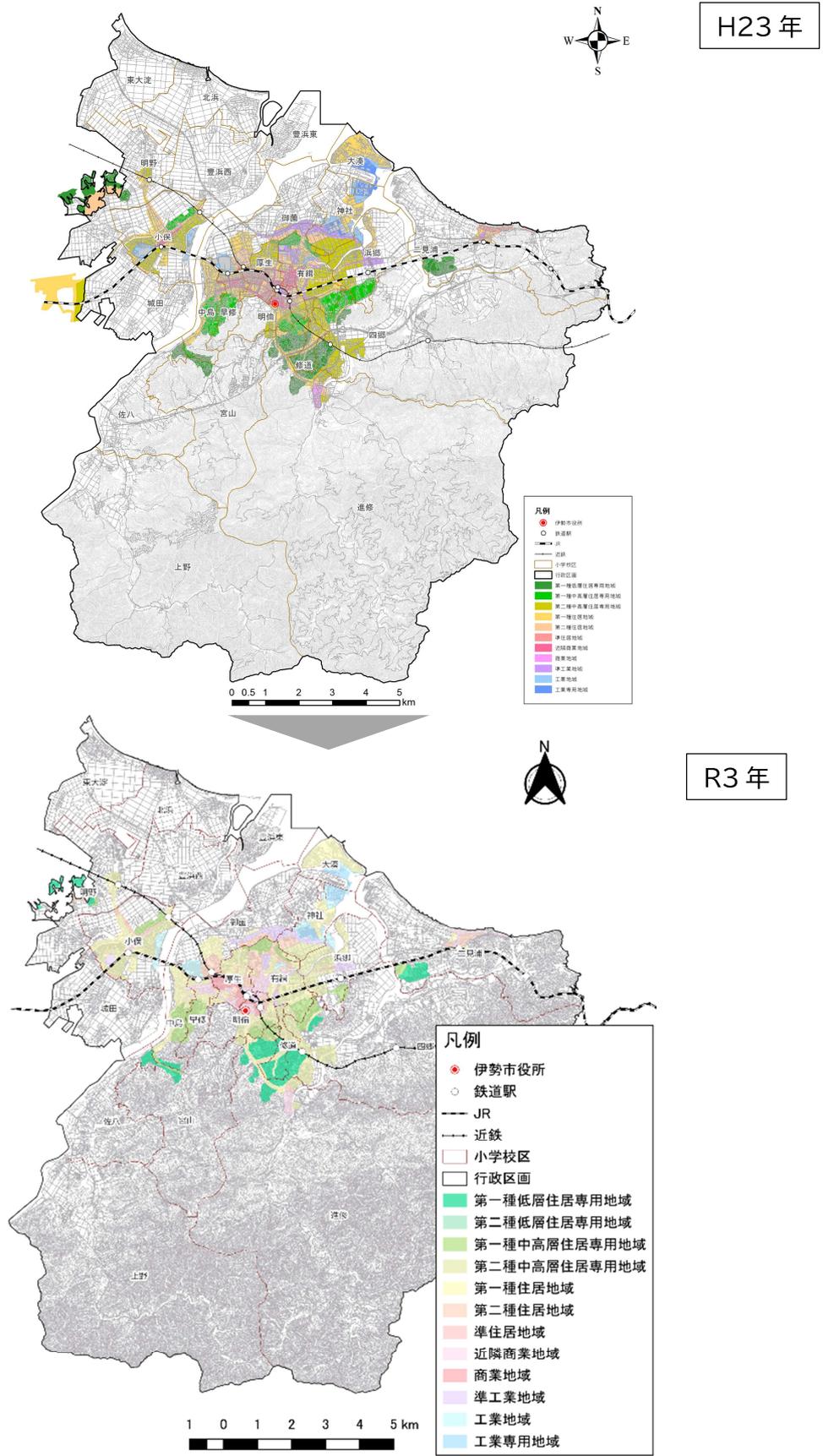
用途地域の指定状況



資料:国土数値情報(R3)

H23年と比較すると、用途指定に大きな変化は見られません。

用途指定状況の変化

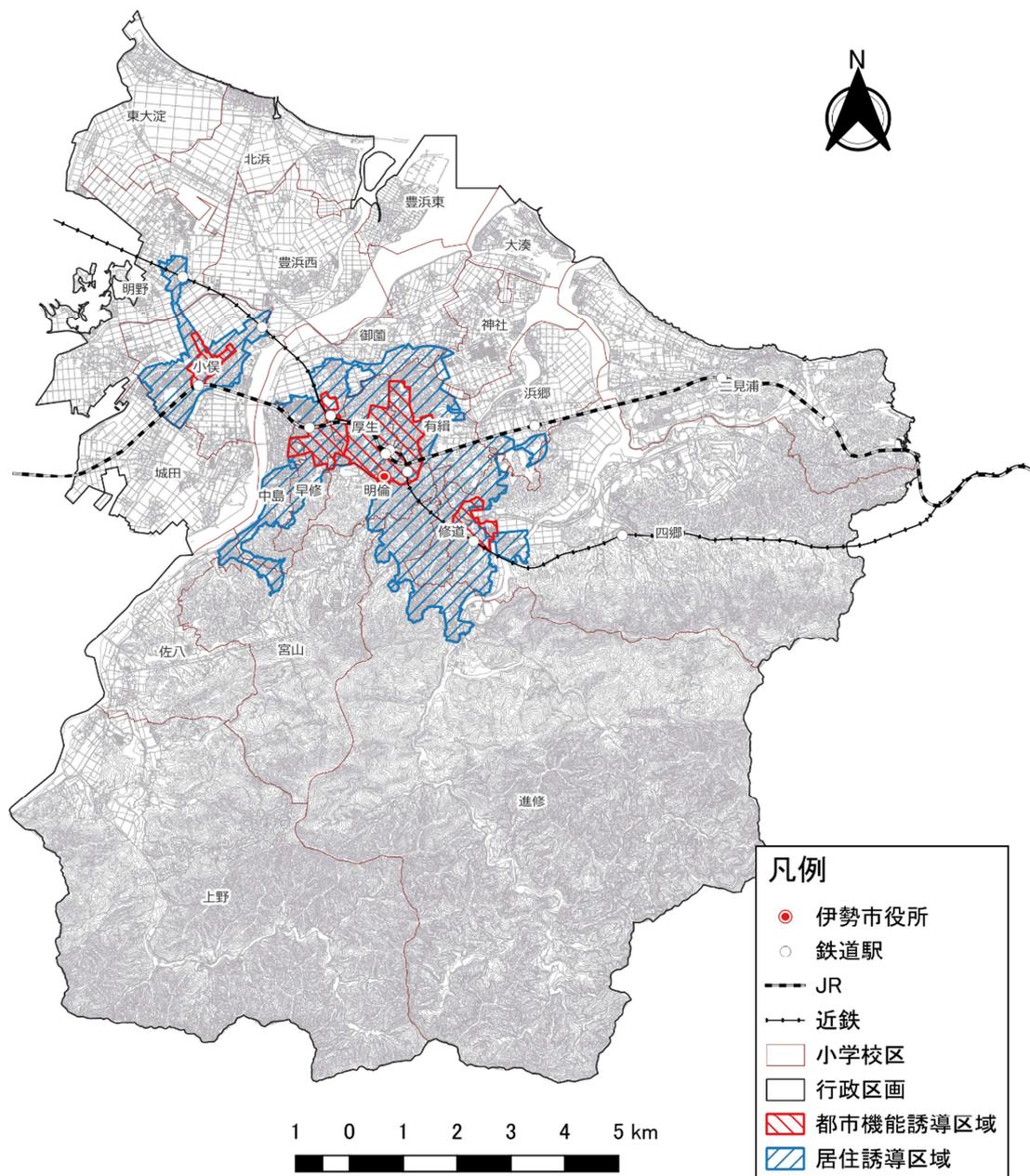


資料:国土数値情報(H23・R3)

### 1-3-3 都市機能誘導区域・居住誘導区域

本市における都市機能誘導区域・居住誘導区域の指定状況は下図のとおりです。伊勢市・宇治山田駅周辺、宮町・山田上口駅周辺、宮川駅周辺、五十鈴川駅周辺に都市機能誘導区域が指定されており、これらの地区を中心に居住誘導区域が指定されています。

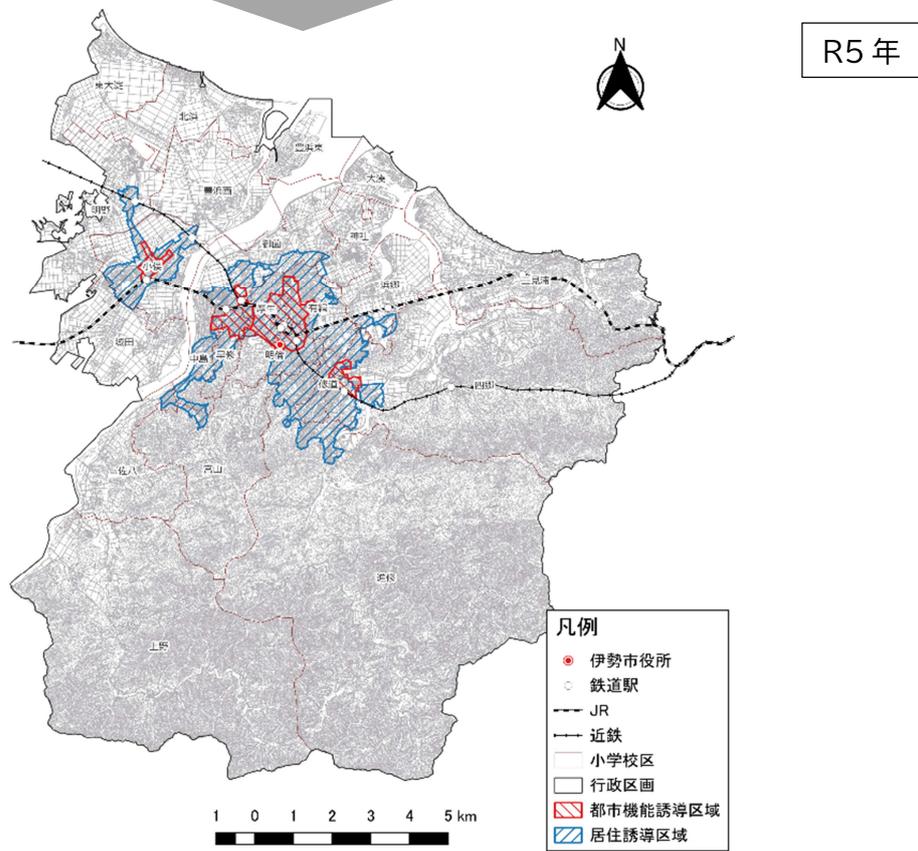
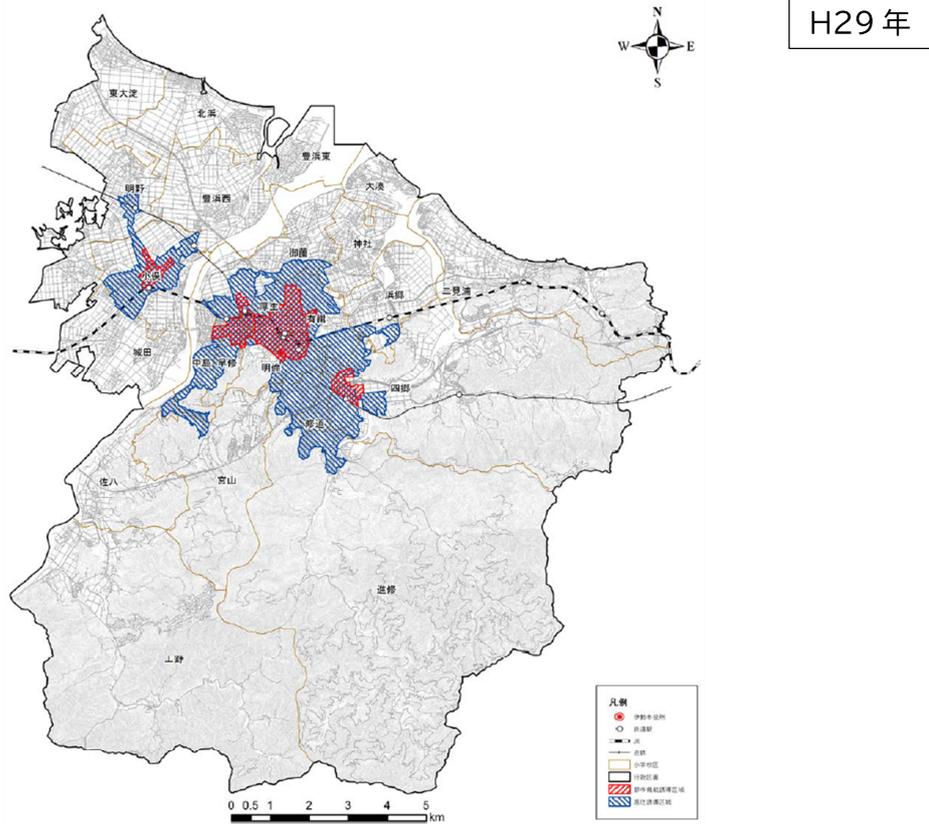
都市機能誘導区域・居住誘導区域の指定状況



資料:伊勢市立地適正化計画(R5)

H29 年と比較して、指定区域に大きな変更はありません。

都市機能誘導区域・居住誘導区域の指定状況の変化

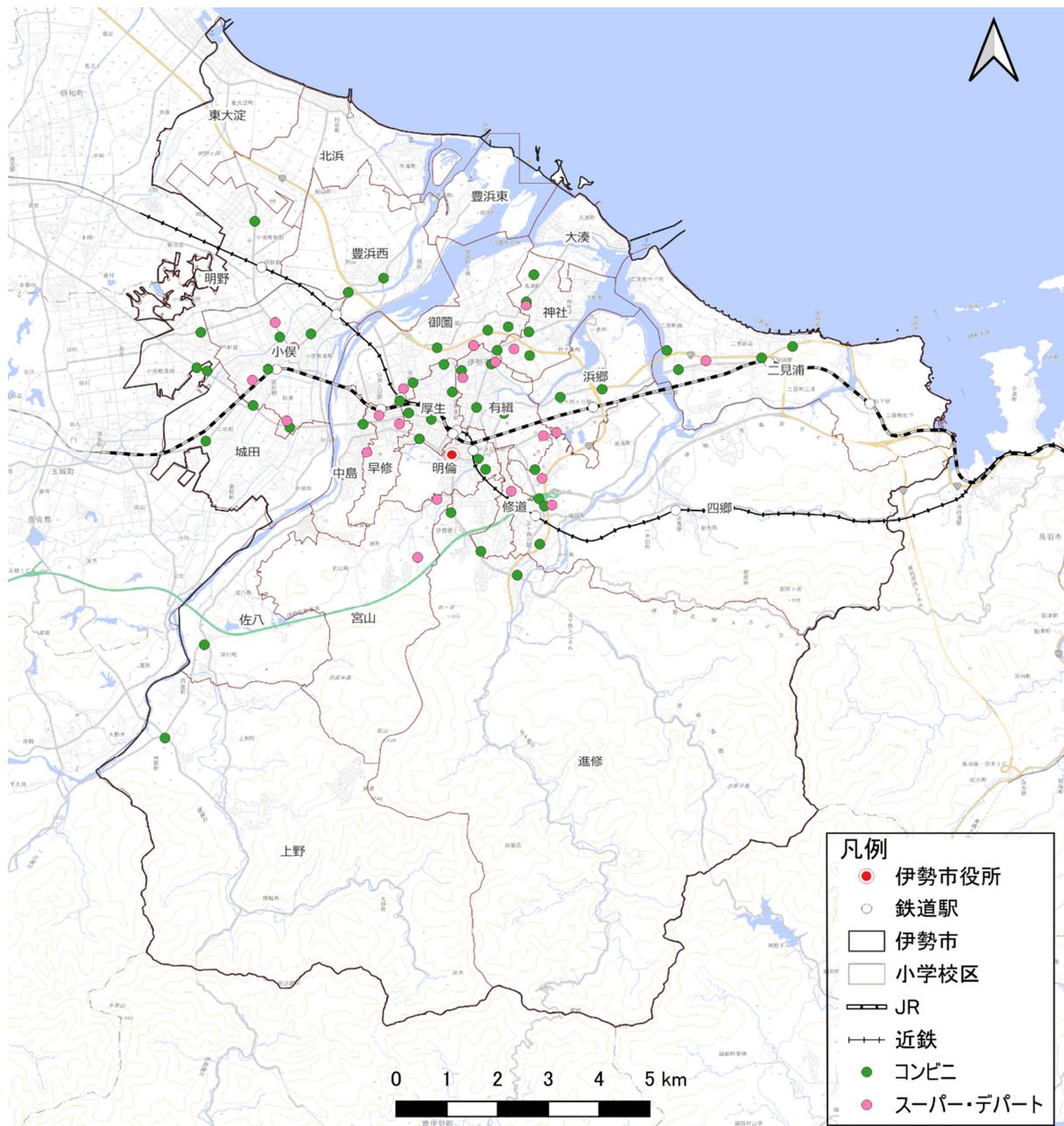


## 1-4 都市施設の立地状況と目的別移動状況

### 1-4-1 商業(買い物)

本市における商業施設は、中心部周辺に多く立地し、郊外では国道沿線等に点在しています。有絹地区にはミタス伊勢、御園地区にはみそのショッピングセンター、神社地区にはララパーク、四郷地区にはイオン伊勢店等の大型商業施設が立地しています。その他、小俣地区、宮山地区、中島地区、早修地区、二見浦地区、修道地区にもスーパーが立地しています。

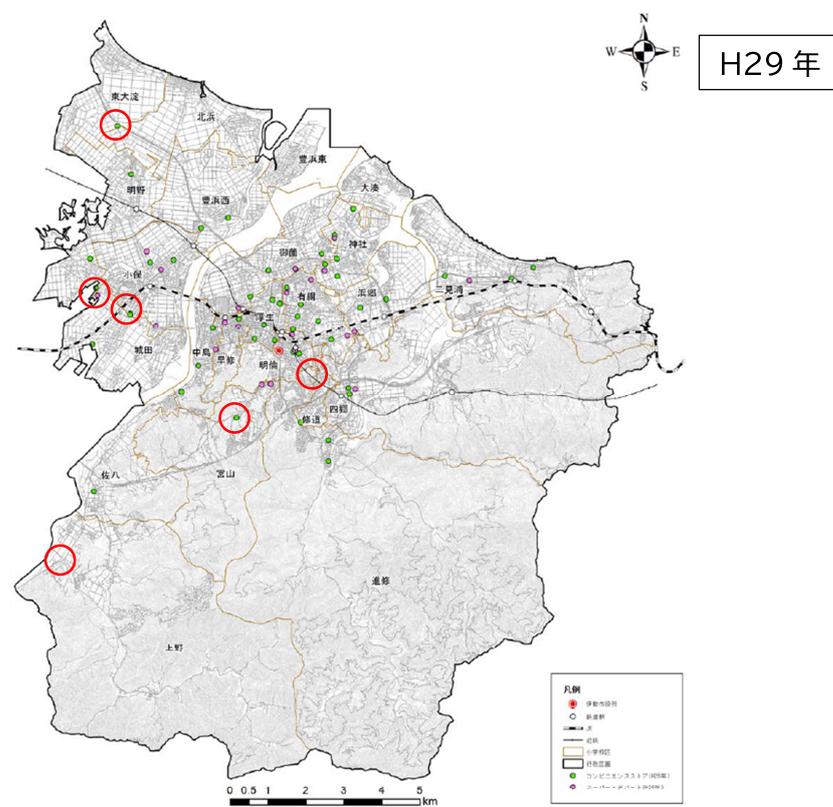
商業施設立地状況



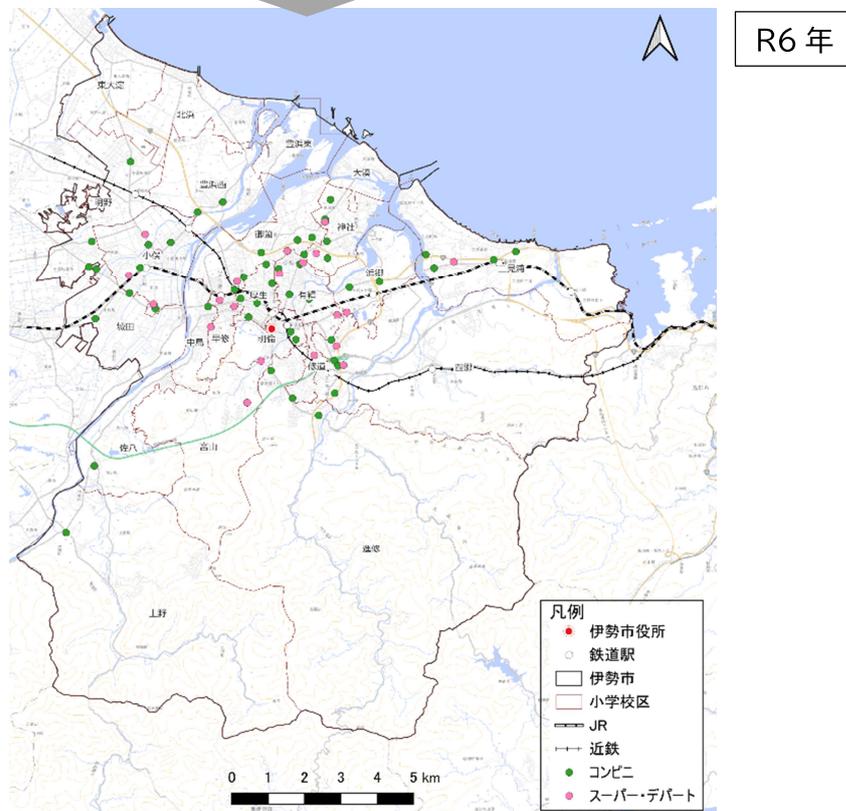
資料:iタウンページ(R6)

H29年と比較すると、概ね立地状況は変わりませんが、小俣地区、宮山地区など郊外部で一部店舗の新たな立地、撤退が確認できます。

### 商業施設立地状況の変化



資料：伊勢市立地適正化計画（H29年度）

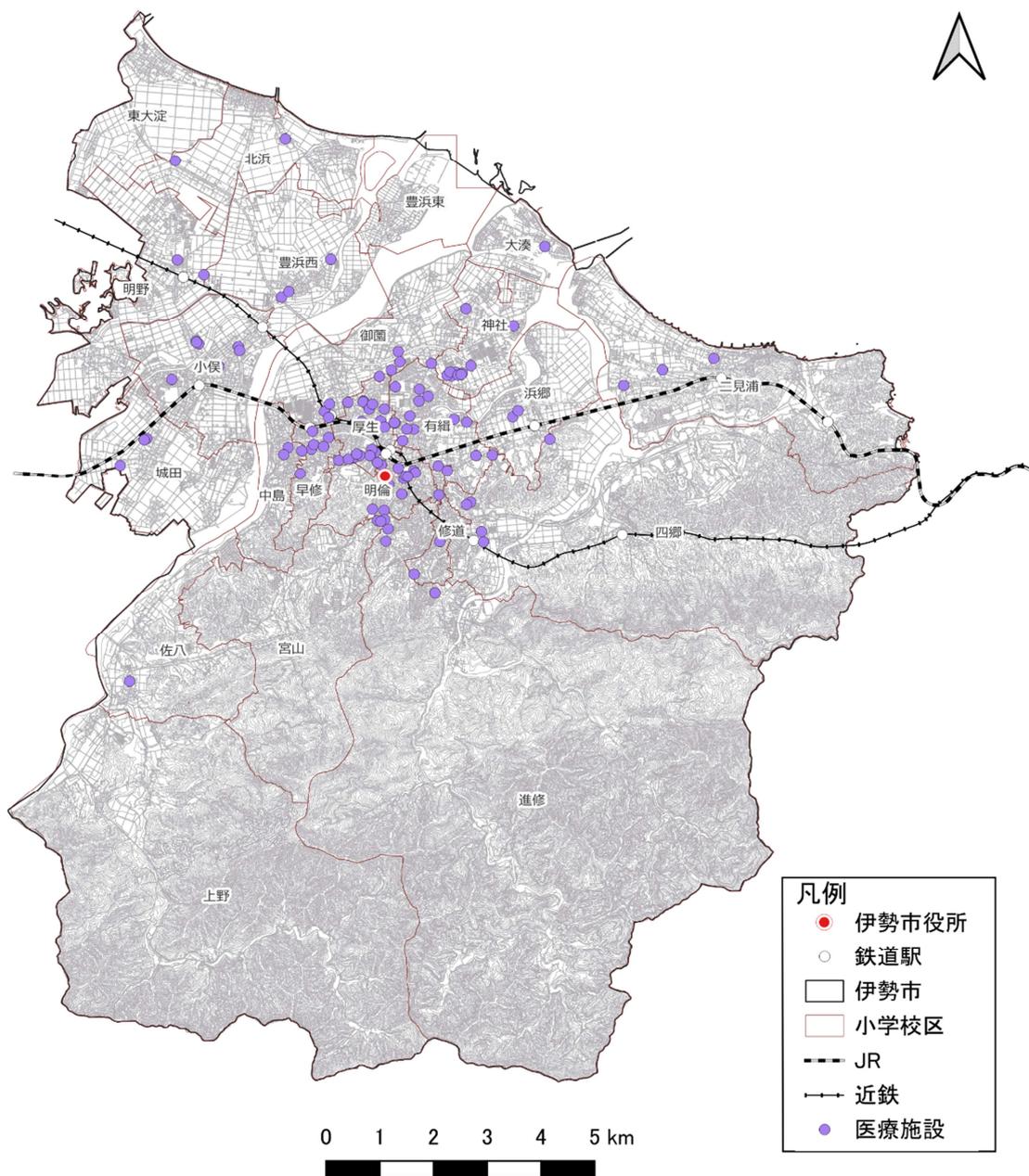


資料：iタウンページ

## 1-4-2 医療(通院)

本市の医療施設は、中心部周辺に多く点在しています。また、医療拠点として有絹地区に伊勢赤十字病院(第三次救急医療機関)、四郷地区に市立伊勢総合病院(第二次救急医療機関)、厚生地区に伊勢田中病院(その他の救急告示医療機関)、御園地区に伊勢ひかり病院(その他の救急告示医療機関)が立地しています。

医療施設立地状況



資料:(一社)伊勢地区医師会ホームページ

H29年と比較すると、立地状況に大きな変化はないことがわかります。

### 医療施設立地状況の変化

